

2021年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の1枚) 配点 25点	採点
----------	---------------------	-----------------	----

問1-1 図1～3の神社本殿形式を語群(1)から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。また、図4と図5の建物名を解答欄に記入しなさい。(5点)

	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
解答欄				建物名 Building Name	建物名 Building Name
語群(1) choices(1)					
A:春日造 Kasuga-zukuri, B:日吉造 Hie-zukuri, C:大社造 Taisha-zukuri, D:神明造 Shinmei-zukuri, E:權現造 Gongen-zukuri, F:住吉造 Sumiyoshi-zukuri, G:流造 Nagare-zukuri, H:寝殿造 Shinden-zukuri, I:八幡造 Hachiman-zukuri					

問1-2 図1～4の建物名および図1と図4を設計した建築家名を解答欄に記しなさい。また、図1～4の建物の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(8点)

	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)
解答欄	建物名 Building Name				⇒ ⇒ ⇒
	建築家名 Name of Architect				

問1-3 図1～5が示す建築作品名および設計した建築家名を解答欄に記しなさい。また、図1～5が示す建築作品の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(12点)

	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4	図5 Fig.5
解答欄	建築作品名 Name of Work				
	建築家名 Name of Architect				
完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)	⇒ ⇒ ⇒ 4 ⇒				

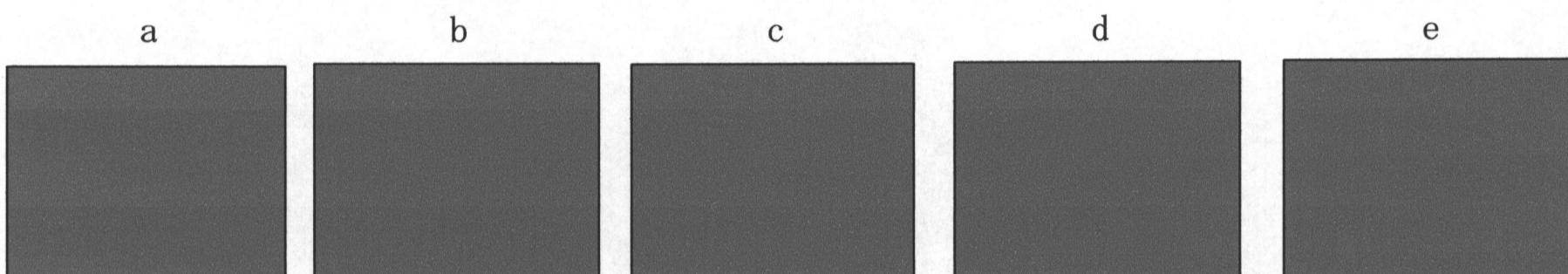
2021年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

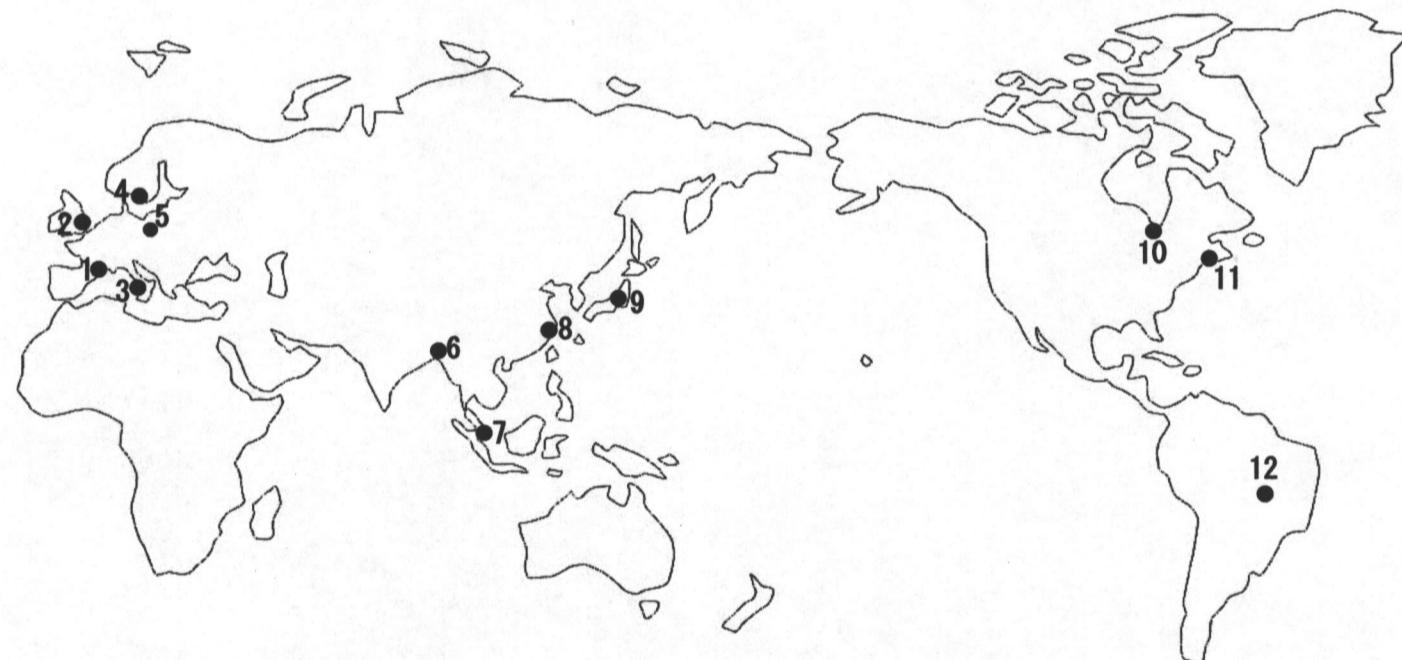
専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の2枚) 配点 25点	採点
----------	---------------------	-----------------	----

問2 現代の建築作品a～eに関する下記の問い合わせに答えなさい。(25点)



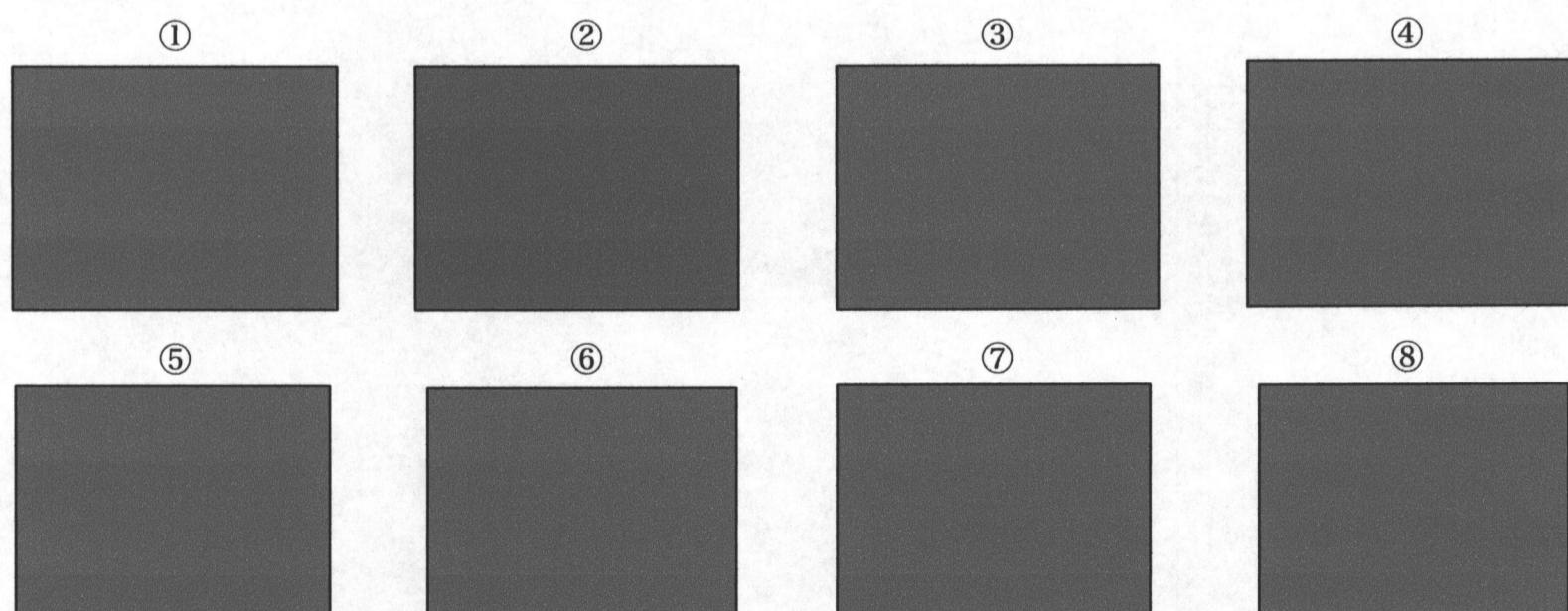
問2-1 建築作品a～eが位置している場所を以下の地図上の番号1～12から選び、解答欄に番号で記入しなさい。(10点)

a 解答欄	b 解答欄	c 解答欄	d 解答欄	e 解答欄
-------	-------	-------	-------	-------



問2-2 建築作品a～eを設計した建築家による別の作品を以下の写真①～⑧の中から選び解答欄に記号で記入しなさい。(10点)

a 解答欄	b 解答欄	c 解答欄	d 解答欄	e 解答欄
-------	-------	-------	-------	-------



問2-3 建築作品a～eを設計した建築家名を解答欄に記入しなさい。(5点)

a 解答欄	b 解答欄	c 解答欄	d 解答欄	e 解答欄
-------	-------	-------	-------	-------

2021年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の3枚) 配点25点	採 点
----------	---------------------	----------------	--------

問3-1 建築計画、防災計画に関する①~⑦にあてはまる最も適切な語句を語群から選び、その記号(A~N)を解答欄に記入しなさい。(14点)

- 1) 視覚と空間の感覚との間には一定の経験的法則が見出せる。19世紀の建築家(①)はこれを建物の高さと建物までの距離の比D/Hによって尺度化した。囲まれた空間の開放感や閉鎖感はD/Hが目安となる。
- 2) (②)は設計者である藤井厚二が居住実験を繰り返したのちに建てられた住宅である。公室部分の間仕切り壁の少ない平面構成により、空気の流れを作り出して換気、通風を行うなどの工夫が施されている。
- 3) 建築家(③)の自邸SH-1は軽量鉄骨の細柱、鉄筋のブレース、大きなガラス、煉瓦、コンクリートといった近代工業製品を巧みに組み合わせて、ワンルームによるモダンな生活が提案されている。
- 4) (④)が東京都で実施した高密高層の集合住宅プロジェクト東雲キャナルコートCODANでは、コミュニティボイドやシースルーエントランス等を設け、住戸、共用部、中庭、街路を通じて、住まいをまちに開く空間的連続を目指した設計がなされた。
- 5) (⑤)は失敗や故障などが起きても代替手段によって、(⑥)は人間の判断の能力が低下したとしても人間の行動特性を考慮した対策によって能力低下を補って、大事に至らないようにする防災の二大原則である。
- 6) (⑦)は間仕切壁、閉鎖された扉、垂れ壁等によって煙の拡大を防止するために設ける。

語群 A) 最小限住宅 B) 都市再生機構(UR都市機構) C) 防煙区画 D) H・メルテンス E) 広瀬謙二 F) 池辺陽 G) K・リンチ H) ノーマライゼーション I) ゾーニング J) フールプルーフ K) フェールセーフ L) 復興庁 M) 聰竹居 N) 防火区画

解答欄	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	

問3-2 下図に示す国際生活機能分類(世界保健機関、2001)に基づいて、障がいの概念を100字以内で説明せよ。(5点)

解答欄	
-----	--

問3-3 オープンスクールの教育方法に対応した建築計画に関する特徴を100字以内で説明せよ。(6点)

解答欄	
-----	--

2021年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の 4枚) 配点 25点	採 点
----------	---------------------	-------------------	--------

問4 田園都市について、下記の設間に解答せよ。 (12点)

問4-1 田園都市論の提唱者の名前をA欄に、著作名をB欄に記入せよ。 (4点)

A.	B.
----	----

問4-2 田園都市論の特徴をC欄に、下左の図を参照しながら、土地利用と施設配置のパターンの特徴をD欄に説明せよ。 (8点)

C.	D.
----	----

問5 成長時代から低成長時代・成熟時代に移行している国々では、コンパクトシティや集約型都市構造の実現を掲げ、都市計画が進められている。コンパクトシティや集約型都市構造が必要とされる背景と都市の課題をE欄に、その課題の解決に向けた対策をF欄に説明せよ。 (13点)

E.	F.
----	----